

# 報道資料

令和4年11月7日(月)

福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 担当:馬場・野坂

電話:0742-27-8653(ダイヤルイン)内線:3110、3111

## 新型コロナウイルス感染症の院内感染事案（クラスター事案）の発生について （医療法人友誼会 奈良友誼会病院第3報(最終報)）

医療法人友誼会 奈良友誼会病院において、これまでに入院患者 87 名、職員 26 名 計 113 名の感染が判明しました。感染状況から、入院病棟A、入院病棟Bおよび入院病棟Cにおいて院内感染(クラスター)が発生したと考えられます。

これを受け、当該医療機関では病棟の職員及び入院患者に健康観察を行ってきましたが、健康観察期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていないことから、院内感染事案は終結し、本日(11月7日)から、医療法人友誼会奈良友誼会病院はすべての病院機能を再開します。

感染拡大の原因は、感染者の早期発見および感染防御策の徹底が不十分であったことと推定しています。当該医療機関では改めて職員の感染防御策の徹底(手指消毒、マスク着用、PPE(個人用防護具)着用)および職員・患者への健康管理の徹底を行うなどの再発防止策を講じたところです。

### 1 発生場所

医療法人友誼会 奈良友誼会病院（所在地 上牧町服部台5丁目2-1）

### 2 感染者の概要(合計 113 名)

- ・経緯:入院病棟A 10月10日に1例の感染を確認。その濃厚接触者等の検査結果から39例の感染を確認。
- 入院病棟B 10月12日に1例の感染を確認。その濃厚接触者等の検査結果から39例の感染を確認。
- 入院病棟C 10月16日に1例の感染を確認。その濃厚接触者等の検査結果から32例の感染を確認。

・感染者内訳:入院患者 87 名、職員 26 名

20代4名、30代1名、40代10名、50代8名、60代11名、70代17名、80代35名、90代25名、100代2名

	入院病棟A	入院病棟B	入院病棟C
入院患者	30名	28名	29名
医師	1名	—	—
看護師	7名	8名	4名
看護助手	2名	4名	—
合計	40名	40名	33名

※第2報(10月21日)以降、新たに入院患者29名、職員9名の感染が判明しています。

### 3 県の対応

- ・入院患者の健康観察の徹底と発熱等患者発見時の早期検査実施を指示
- ・職員の日常生活を含めての感染対策の徹底を指示
- ・10月20日に県立医大感染症センター医師及び県職員が現地確認を行い、院内感染対策について指導。

#### 4 病院の対応(11月7日0時時点)

- ・関係箇所の消毒実施
- ・入院病棟Aの新規入院を休止(10月10日~10月31日)
- ・入院病棟Bの新規入院を休止(10月11日~10月31日)
- ・入院病棟Cの新規入院を休止(10月17日~11月6日)

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。